

おまえさ

消えていいよ

やっぱおまえいらさないよ

ダーウィンの 戦争

作・演出

鐘下辰男

(桜美林大学准教授/演劇企画集団THE・ガジラ主宰)

桜美林大学パフォーミングアーツプログラム〈OPAP〉vol.63
KANESHITA・OPAP / 2016

主催 | 桜美林大学
主幹 | OPAP vol.63

作・演出

鐘下辰男

(桜美林大学准教授/演劇企画集団THE・ガジラ主宰)

出演

小野涼平 相良航哉 中林美沙 能澤百喜
松本知道 守屋百子 山本耶愛 榎本雅之
八戸舞実 新垣亘平

舞台美術 新海雄大 照明 宮古千穂
照明操作 露崎嘉一 音響 安藤あゆみ
衣裳 小澤朱莉 小道具 富安美尋
舞台監督 藤井 瑛 映像 松澤和彦
演出助手 菊池 遥 宣伝美術 小田川千尋
制作 太田千恵子

主催 桜美林大学 主幹 OPAP vol.63

▶ OPAP vol.63制作部

TEL/FAX 042-704-7013
(TEL/平日18:00~21:00 FAX/24時間)

MAIL kanesita_opap@yahoo.co.jp

WEB <http://www8.obirin.ac.jp/opai/opap.php>

この夏オリンピックがあった。
マスコミは日本選手団の活躍を連日、いささか興奮気味に伝えていた。
「がんばれ日本」「すばらしい日本」「やっただ日本」
……こうした言葉を私は幾度も期間中耳にした。
私は日本選手団の活躍に水を差す気はない。だが本来賞賛されるべきは
まずはその選手たち個人個人であって、国家。ではないはずだ。
こう言う昨今はブサヨとか言われるらしいが私は別に、国家。を否定はしない。
しかし市民革命の伝統を持たない私たちにどうして、ましてや、憲法は国民が守る。
と思う人が多く存在する「日本」において、国家。という時、それはいわゆる一般的な
近代国家の概念とはいささか異なるニュアンスがあることを忘れてはならない。
「みなさまのおかげ」「みなさまに感謝」「みなさまに申し訳ない」こうしたマスコミ
による意図的とも思える選手団のコメントの切り取りに違和感を感じるのは私だけでは
ないだろう。そもそも「みなさま」とは誰のことを言っているのか？誰が誰に感謝し、
誰が誰に謝罪しているのか？
オリンピックに限らずこうした物言いが昨今氾濫するこの国が開催国となる4年後、
果たしてどういう「空気」が作られているかと思うと想像するのも嫌になる。
せつちにしてもこの「みなさま」に入らぬ者は「みなさま」からの監視対象となり、
やがては「みなさま」から排除されていくのは間違いないだろう。
それも知らぬ間に……。

2016/08/22 鐘下辰男

2016.11.20(Sun) - 11.27(Sun) 全10ステージ

	20 Sun	21 Mon	22 Tue	23 Wed	24 Thu	25 Fri	26 Sat	27 Sun
13:00				●			●	●
18:00	●						●	●
19:00		●	●		●	●		

※日時指定・全席自由

※受付開始は開演の60分前、開場は開演の30分前

※23日(水)は祝日のため昼公演とさせていただきます。

	【前売】	【当日】
一般	1500円	1700円
学生	1200円	1400円
高校生以下	800円	1000円

【リピーター割】

当日券含め一律500円

※高校生以下・学生(専門学校生・劇団研究員含む)の方は
当日受付にて学生証をご提示いただけます。
※芸術地域通貨ARTS 使用可…ARTS(アーツ)とは、
桜美林大学内の観劇施設で施行されている地域通貨です。
(ARTS=1円で使用できます)

▶ ご予約方法

-FAX 042-704-7013

-Eメール kanesita_opap@yahoo.co.jp

件名を「チケット予約」とし

①お名前(フリガナ)②ご連絡先メールアドレス
③観劇希望日時④券種⑤枚数

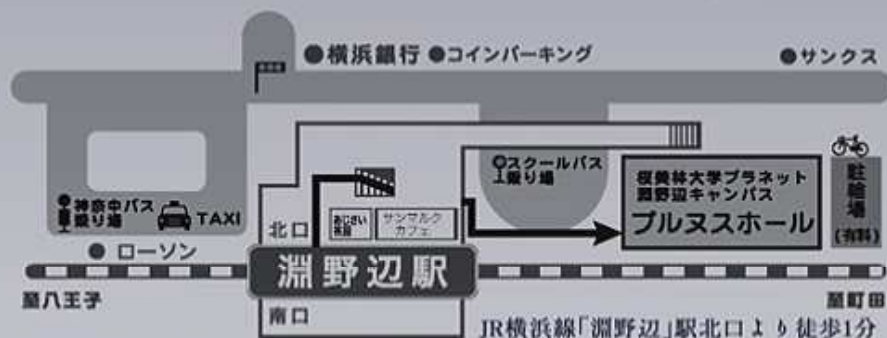
を上記アドレス・FAXにお送りください。

※こちらからのご予約確認の返信をもって、

ご予約の完了とさせていただきます。

※未就学児のご入場はご遠慮いただきます。

2016年10月1日(土)よりチケット予約受付開始



桜美林大学PRUNUS HALL

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺4-16-1

桜美林大学プラネット淵野辺キャンパス(PFC)内1階

※当劇場には駐輪・駐車スペースがございません。自転車や自動車での来場の際は
お近くの駐輪場、またはコインパーキングをご利用ください。



桜美林大学パフォーマンスアーツプログラム(通称OPAP/オペア)とは、桜美林大学総合文化学群・芸術文化学群が主体となって
製作する公演の名称です。毎回プロの演出家・振付家がプロデュースし、学生がキャスト・スタッフをつとめます。
単なる演劇専修生の発表会ではなく、一般観客の鑑賞にも堪える、高いレベルの上演を目指します。